

リサイクルをすすめ、環境と緑を守りましょう。

☆捨てればゴミ活かせば資源☆

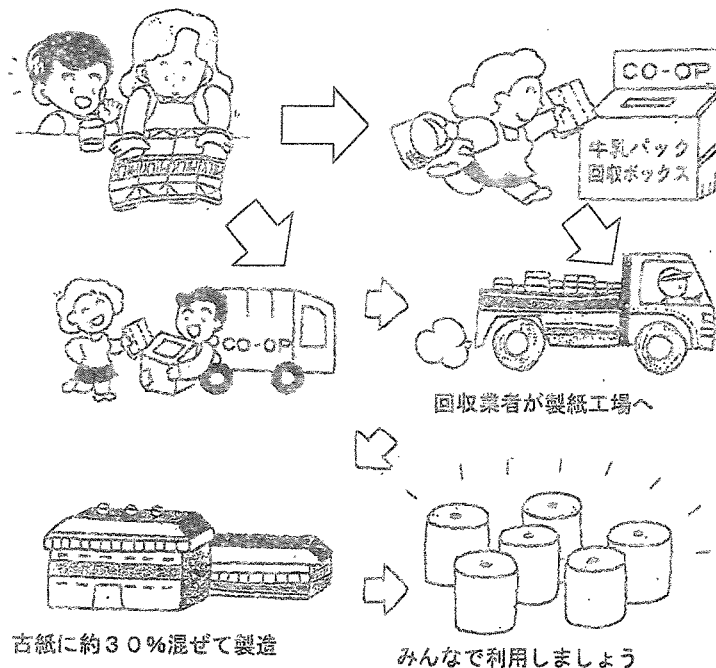


青森県生活協同組合連合会

青森市柳川2丁目4-22

TEL: 017-766-1521

牛乳パックの回収とリサイクルの流れ



古紙に約30%混ぜて製造

みんなで利用しましょう

生協牛乳

緑の地球を

未来の子どもたちへ

豊かさや便利さのために資源やエネルギーを大量に消費する生活は、限りある地球資源やかけがえのない自然環境と動植物の命を失うことにつながります。

また、森林資源の減少や砂漠化、異常気象による干ばつ、水害などの自然災害の大型化も私たちの暮らし方とつながっています。

こんな暮らし方を見つめ直し、「子どもたちに緑豊かな地球を残したい」そんな組合員の願いの中から、1990年、生協の牛乳パック回収運

27年間で生協が回収した牛乳パック

**約1,690トン(5,070万枚)は
トイレットロール約845万個の原料に**

紙パックは、西洋杉を主原料に(端材等を中心に)バージンパルプで作られ、繊維が長くて柔らかいので「良質な紙」の原料として再利用できます。トイレットロールの場合は、古紙に3割混ぜて製造します。牛乳パック6枚で1

捨てればゴミ 活かせば資源!

- ・古紙や紙パックのリサイクルがすすんでいます、全国的には2015年度で使用後の紙パックの回収率はまだ34%と5割に達していません。
- ・紙パックは、ごみとして燃やすとCO2などの発生につながり、ごみ処理費用もかかります。捨てないで再利用することで、CO2の発生を抑え、緑の減少を少なくすることにも役立ちます。
- ・紙パックは、西洋杉を主原料に(端材等を中心に)バージンパルプで作られています。繊維が長くて柔らかいので、「良質な紙」の原料として再利用できます。

使ってこそ「リサイクル」

- ・生協では、回収された牛乳パックを再利用した「COOPコアノンロール」(トイレットペーパー)やグリーンキーパー(ティッシュペーパー)など様々な再生紙商品を案内しています。再生商品を利用することで資源を活かしましょう



●収益金は「生協ふれあいの森」事業に活用されています。

●2001年から青森森林管理署及び三八上北森林管理署と「ふれあいの森の協定」を締結し、「生協ふれあいの森」への植樹活動を続けています。

●青森市眺望山ふれあいの森には、ひばを毎年200本、十和田市鷹(仙人平)ふれあいの森には、ぶなを毎年200本植樹してきました。17年間で**6800本**になります。